

# JACET Kansai Newsletter

No. 98 June 15, 2024

一般社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 門田 修平 (関西学院大学・名誉教授)

(Chapter President: Shuhei KADOTA, Kwansei Gakuin University, Professor Emeritus)

事務局: 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3 丁目 4-1

近畿大学 理工学部 教養・基礎教育部門 三木浩平研究室内 JACET 関西事務局 三木浩平

(Chapter Office: c/o Kohei Miki, General Education Division, Faculty of Science and Engineering,

Kindai University, 3-4-1 Kowakae, Higashiosaka city, Osaka 577-8502)

URL: <http://www.jacet-kansai.org/> (関西支部へは左の URL からご連絡ください)

## 巻頭言：認知・社会・情動システムをフル活用した英語（第二言語）の学習・教育

門田 修平（支部長）

昨年夏、拙著（2023）『社会脳インタラク션을活かした英語の学習・教育』（大修館書店）を刊行いたしました。私たちが第二言語を処理し学習する際のところの中でのしくみを理解することは、言語教育の効果を大いに高めることに役立ちます。今後さまざまな機会に、第二言語習得における認知、社会、情動の脳システムの統合的な役割を探求し、神経言語学と第二言語習得の研究結果にもとづいた議論を提供したいと考えています。これら 3 つの脳システムは、それぞれ独自でありながら相互に関連する役割を言語学習で果たしており、互いの関連性を理解することは、より効果的な教授法や教材の開発につながるのではないかと考えます。

まず、認知脳システム、特にワーキングメモリの枠組みは、英語（第二言語）処理と習得の認知的発達の基礎になります。これには語彙や文法などの知識的な側面を習得するためのメカニズムや、これらの言語知識の自動化や手続き化が含まれます。

さらに、認知脳は、音声処理スキルの発達や、音（形）を意味にマッピングする能力の獲得にも重要です。認知脳システムの活用をふまえた学習法、例えばシャドーイングなどは、目標言語の習得を成功裏に向上させることが示唆されています（Kadota, S. 2019: *Shadowing as a Practice in Second Language Acquisition*. Routledge）。特に、日本人英語学習者の場合のように、第二言語（英語）と第一言語（日本語）が言語的に距離がある場合に、認知システムが、シャドーイング学習を通じて第二言語習得をどのように促進するか、そのみちすじが徐々に明らかにされつつあります。

社会脳システムは、ことばをインタラクティブな他者とのコミュニケーションの中に位置づけるものです。この脳システムは、学習者が対面の会話、グループでの共同作業で、目標言語を使用している際に生じる社会的インタラク션을制御しています。この脳システムにより、教師は実際の使用状況を模した、イ

ンタラクティブな学習環境を作り出すことで、実際の場面・状況をシミュレーションした言語運用の場を提供するよう工夫する必要があると思います。

最後に、情動脳システムは、学習者を動機づけ、学習に対する情動的反応に影響するという点で極めて重要です。これは、不安、興奮、フラストレーション、喜びなどの情動が新しい言語の習得や保持において、重要な役割を果たすという観点からのアプローチです。特に、扁桃体と海馬は脳の辺縁系において非常に近い位置にあり、密な繊維接続を持っているため、その機能は相互に関連しあっていると言われます。言い換えると、扁桃体の情動が、海馬での記憶の固定化に重要な影響を与えるのです。ポジティブな情動体験は、動機付けと記憶の保持を大いに向上させるだけでなく、学習プロセスをより楽しい、効果的なものにする可能性があります。逆に、ネガティブな情動は言語の学習や運用への障害を作り出し、進行を妨げてしまいます。情動的要因が言語学習にどのように影響するかについて実証的に探り、ポジティブな学習環境を用意する方法を真剣に検討する必要があるでしょう。

今後、これらの脳システムの相互関係を探求し、それらを教室の実践に統合的に取り入れる枠組みを構築し、その方法を探求する必要があると思います。私たちの言語学習の基盤となる脳内メカニズムに関する理論的・実証的研究成果の蓄積が進んでいます。その結果、教室で学習者の英語習得を向上させる学習方法が少しずつでも明らかになるのではないかと考えています。これら 3 つの脳システムがどのように機能するかを理解することで、認知、社会、情動のニーズに合わせた効果的カリキュラムの設計・運用に役立てることができるのではないのでしょうか。

認知・社会・情動の 3 システムを統合した、全体的（holistic）なアプローチにより、第二言語習得の効果を高め、学習者にとって魅力的で充実した学習体験を提供できるのではないかと期待しています。

## ■ 今年度のイベント・カレンダー ■

今年度に予定されている JACET 関西支部の活動です。是非ご予約ください。

日時 (Date)	行事・概要 (Event)
2024/6/15	第 1 回支部講演会・支部役員会 Kansai Chapter 1st Lecture Meeting / Chapter Board Meeting
2024/9/30	『JACET Kansai Journal (JACET 関西支部紀要)』27 号投稿原稿締切 The deadline to submit a paper for <i>JACET Kansai Journal</i> No. 27
2024/10/19	第 2 回支部講演会・支部役員会@オンライン Kansai Chapter 2nd Lecture Meeting / Chapter Board Meeting, Online
2024/11/16	支部総会@オンライン Chapter Annual Meeting, Online
2025/2/22	第 3 回支部講演会@オンライン Kansai Chapter 3rd Lecture Meeting, Online
2025/3/1	支部大会・支部役員会@近畿大学 Kansai Chapter Conference / Chapter Board Meeting, Kindai University
2025/3/31	『JACET Kansai Journal (JACET 関西支部紀要)』27 号刊行 Publication of <i>JACET Kansai Journal</i> No. 27

なお、上記イベントは諸事情により、日程・場所・内容等に変更が生じる場合がございます。最新情報は支部ホームページ (<http://www.jacet-kansai.org/>) にて随時更新しておりますので、ご確認ください。

Please check the Kansai Chapter website for specific details: <http://www.jacet-kansai.org/>.

## ■ 2024 年度 JACET 関西支部大会 ■

2024 年度の支部大会は、以下の要領で開催することとなりました。発表の詳細は後日公開致します。ふるってご応募ください。

日時：2025 年 3 月 1 日（土）

場所：近畿大学 東大阪キャンパス

大会テーマ：多様化する社会に応える英語教育

大会サブテーマ：AI 時代の教育力とは？

今回の基調講演は 2 名の先生方をお招きできることになりました。大会冒頭で、東京大学特任教授のトム・

ガリー先生に、大会最終に、神戸学院大学名誉教授の野口ジュディー先生をお迎えし、皆さんでこれからの英語教育を一緒に考える機会にしたいと思います。

## Kansai Chapter 2024 Conference

We are pleased to announce that the Kansai Chapter 2024 Conference will be held on March 1, 2025, at Kindai University, Main Campus (Higashiosaka City). The conference theme is "Responding to a Diversifying Society: The Role of English Education in the Age of AI". Details of the announcement will be publicized in due course. We cordially invite submissions from interested participants and look forward to your active participation.

We are honored to announce that the keynote speaker for the conference will be Tom Gally, Specially Appointed Professor of Tokyo University, and Judy Noguchi, Professor Emerita of Kobe Gakuin University. We believe that their insights on English education in the new era will provide valuable perspectives and stimulate lively discussions. We warmly welcome everyone to join us in this exciting event.

## ■ 2023 年度第 3 回支部講演会のご報告 ■

2023 年度第 3 回支部講演会(海外の外国語教育研究会による講演会)が、2024 年 1 月 20 日(土)に、オンラインで開催されました。イングランドとドイツの外国語教育の現状について拝聴することができ、大変興味深い講演会となりました。

日時：2024 年 1 月 20 日(土) 15:30～17:00

会場：オンライン (ZOOM)

演題：『ヨーロッパの異言語教育政策—ドイツとイングランドの事例から—』

講師：杉谷眞佐子（関西大学）、大場智美（多摩大学）

The Kansai Chapter Third Lecture Meeting of the 2023 academic year organized by SIG on “Research on Foreign Language Education Abroad” was held online on Saturday, January 20. It was an opportunity to introduce the current situation surrounding the language education policy in Europe, especially in Germany and England. With a large number of attendees, the event was a great success.

Date: Saturday, January 20, 2024, 15:30–17:00

Venue: Online (Zoom)

Title: “Language Education Policy in Europe – Reports

from Germany and England”

Lecturers: Masako SUGITANI (Professor Emerita Kansai University), Tomomi OHBA (Tama University)

## ■ 2024 年度第 1 回支部講演会のお知らせ ■

2024 年度第 1 回支部講演会は、下記の通り横森大輔先生による招待講演を予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております。詳細は、支部ホームページ (<http://www.jacet-kansai.org/meeting.html>) をご覧ください。

1. 日時：2024 年 6 月 15 日（土）15:15～16:45
2. 会場：大阪公立大学 I-site なんば（対面開催）2F(貸会議室エリア) room:C1
3. 演題：『グループワークの会話分析—学習者間インタラクションから生み出される授業活動の諸相—』
4. 講師：横森 大輔 先生（京都大学国際高等教育院）
5. 概要：大学英語教育では、一斉授業をはじめとした教師中心の授業活動に加え、学習者中心の活動として、学習者同士の議論・ピアレビュー・言語技能エクササイズなどのグループワークがしばしば授業実践の中に取り入れられる。教員の視点からすると、グループワークは教室を活性化し、学習者の主体的な学びを促す効果を持つことが期待される。その一方、学習者にとってグループワークがどのような場として理解されているのか、そして学習者が実際のところどのようにグループワークを成立させているのかといった活動の内実は、必ずしも明らかではない。講演者はこれまで、人々の相互行為における秩序とそれを可能にする様々な仕組みを探究する分野である会話分析 (Conversation Analysis) の枠組みを用い、大学英語授業内でのグループワークを収録した映像データの分析を行ってきた。本講演では、講演者がこれまで実施してきたケーススタディの紹介を行い、会話分析の枠組みを利用することで授業内グループワークのどのような側面に光を当てることができるのかを論じたい。
6. 参加費：：JACET 会員は無料、非会員は 500 円（当日会場にてお支払いください）
7. 使用言語：発表は日本語、質疑は日本語・英語

## Kansai Chapter First Lecture Meeting of AY 2024

The Kansai Chapter First Lecture Meeting of the 2024 academic year will be held as follows:

1. Date: Saturday, June 15, 2024, 15:15–16:45
2. Venue: Osaka Metropolitan University, I-site Namba

(In person) 2F room:C1

3. Title: Conversation analysis of groupwork: Some aspects of classroom activities emerging from student interactions
4. Speaker: Dr. Daisuke Yokomori (Institute for Liberal Arts and Sciences, Kyoto University)
5. Abstract: In college EFL courses, in addition to traditional lecture-based teaching, various groupwork activities such as discussions, peer reviews, and language skill exercises are frequently incorporated. These activities are expected to energize the classroom environment and promote active learning among students. However, students' perspectives on groupwork, including how they construe and, as participants, construct these activities, remain largely unexplored. For years, I have investigated video recordings of groupwork activities in college EFL courses using Conversation Analysis (CA), a research framework that examines the order and mechanisms of human interactions. In this lecture, I will present findings from my previous studies on groupwork in EFL contexts and discuss how CA can illuminate various aspects of in-class groupwork.
6. Fee: JACET member: free. Non-member: 500 yen. (Payment is required at the venue on the day of the conference.)
7. Main language: Japanese for presentation. English & Japanese in the Q&A session.  
Details are available on the Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org/meeting.html>).

## ■ JACET 第 63 回国際大会のお知らせ ■

2024 年 8 月 28 日（水）から 30 日（金）まで愛知大学名古屋キャンパスにて JACET 第 63 回国際大会が開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ：高等教育における英語教育の立ち位置を考える

日程：8 月 28 日（水）～ 8 月 30 日（金）

場所：愛知大学（名古屋キャンパス）

要旨：高等教育における日本の英語教育は、グローバル化の拡大とそれに伴うグローバル人材の育成の急務といった社会的な要請を強く受けて発展してきた。さらに、インターネットやスマートフォンといったテクノロジー、とりわけ近年の大規模言語モデルに基づく生成 AI の台頭は目覚ましく、学習者や教師を取り巻く環境の変化は著しいものがある。一方で、英語教育の内部に目を向けると、言語学や教育学だ

けでなく、心理学や工学など、他の学問分野の知見を様々な形で取り込みながら、その姿を変化させてきた。また、医学・薬学や観光学など、他の分野との連携による専門英語の教育も浸透してきている。

このように、社会や産業の影響を大きく受け入れながら変化を続けてきた英語教育は、現在、高等教育において特異な立ち位置にある。一口に英語教育といっても、その目的や目指すべき方向性は相当に多様化している。先の見通せない、VUCA (Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)) に満ちた時代に、英語教育が確かな存在であり続けるためには、今一度、英語教育とは何か、何であるべきかを考えなければならない。本大会では、「高等教育における英語教育の立ち位置を考える」というテーマのもと、これまでの英語教育の目的を再確認するとともに、VUCA 時代における英語教育の新たな目的と位置付けについて様々な側面から議論を交わしたい。

(<https://www.jacet.org/convention/2024-2/>)

The JACET 63rd International Convention

Theme: Positioning ELT in Higher Education

Date: Wednesday, August 28—Friday, August 30, 2024

Venue: Aichi University (Nagoya Campus)

Abstract: English education at colleges/universities in Japan has developed significantly in response to strong social demands such as the expansion of globalization and the urgent need to cultivate global talent. Moreover, the emergence of technologies such as the Internet and smartphones, especially large language model-based artificial intelligence (AI), has radically changed students' and teachers' learning and teaching environments. On the other hand, when focusing on the internal aspects of English education, it has been transformed by incorporating insights from various fields of study, including linguistics and pedagogy as well as psychology and engineering. In addition, English for specific purposes has increasingly progressed through collaboration with other disciplines such as medicine, pharmacy, and tourism. As a result, English education, which has continuously evolved while accepting the influence of society and industry, currently occupies a unique position in higher education. Under the umbrella of English education, there is considerable diversification in terms of objectives and desired directions. In an era of unpredictable VUCA (Volatility, Uncertainty, Complexity, Ambiguity), it is crucial to rethink what English education should be and what it should be to remain a constant presence. In this convention, under the theme "Positioning ELT in Higher

Education," we aim to reconfirm the past purposes of English education and engage in discussions from various perspectives on the new purposes and positioning of English education in the VUCA era.

(<https://www.jacet.org/convention/2024-2/>)

## ■ 紀要編集委員会より ■

『JACET 関西紀要』第 26 号を 2024 年 3 月末に会員の皆様にお届け致しました。研究論文 2 編、研究ノート 1 編、実践ノート 2 編の合計 5 編が、1 編あたり 3 名の査読者による審査を経て、掲載されました。ご協力いただきました査読委員の先生方には、紀要編集委員会一同改めまして心よりお礼申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

2024 年 4 月 1 日より、『JACET 関西紀要』の掲載論文は、冊子発行 1 年後に J-STAGE に公開されています。現在、第 25 号が公開されています。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jacetkansaijournal/-char/ja>

2024 年 7 月 1 日より、第 27 号の投稿受付を開始いたします(投稿締切: 9 月 30 日)。第 25 号から「研究論文」「研究ノート」「実践研究論文」「実践ノート」

(以上査読有)「SIG 報告」(査読無)の 5 つの種別への投稿が募集されています。「研究論文」「実践研究論文」は 20 ページ以内、「研究ノート」「実践ノート」は 15 ページ以内、「SIG 報告」は 6 ページ以内となっています。詳細は JACET 関西ウェブサイトをご覧ください。

支部ホームページ (<http://www.jacetkansai.org/>) の投稿用テンプレート (WORD) をそのままご使用いただければ幸いです。

投稿期限: 2024 年 9 月 30 日 (月) 午後 11 時 59 分

論文送付先: 紀要編集委員会 事務局長

大槻きょう子 (奈良県立大学)

[jacetkj \[AT\] gmail.com](mailto:jacetkj[at]gmail.com)

提出方法: ウェブサイトでの申し込みと電子メールでの添付ファイル (WORD と PDF)。

(原稿郵送は受け付けません。)

※ 受領後 3 日以内に事務局より確認の返信が届きます。万一、3 日経っても返信が届かない場合は、事務局まで再度ご連絡ください。

※ 提出方法の詳細は、支部ホームページ

(<http://www.jacet-kansai.org/submission.html>) をご覧ください。

重要な日程：

2024 年 9 月 30 日（必着）	投稿原稿締切
11 月 30 日	審査結果通知
2025 年 1 月 6 日（必着）	最終修正原稿締切
3 月 31 日	刊行

The JACET Kansai Journal (JKJ) Editorial Committee announced the publication of JKJ No.26, which was sent to members at the end of March, 2024. The journal contains two research papers, one research note, and two practitioner notes. The Editorial Committee would like to express its sincere gratitude to the reviewers who devoted much time and effort to the editorial process.

We welcome your submissions for the next issue, JKJ No. 27, which requires online registrations starting on July 1st.

Please check the guidelines for details on the submission procedures and requirements. You can find the details on the JACET KANSAI website.

Please use our template so that we can minimize our proofreading process.

1. Go to JACET Kansai Journal website, and submit your application.
2. Send your manuscripts (WORD and PDF) to:  
Kyoko Otsuki (Nara Prefectural University)  
JACET Kansai Journal Secretariat  
jacetkj [AT] gmail.com

If you do not receive a message confirming the receipt of your manuscript within 3 days, please request confirmation. Only e-mail submission will be accepted. Postal submission of paper-based manuscripts will NOT be accepted. Prepare your manuscript according to the JKJ instructions using Microsoft Word. Send it as an attached file with an email message to Kyoko Otsuki, Secretariat, JACET Kansai Journal.

Important Dates:

- Deadline for manuscripts:  
September 30, 2024 (via email as an attached file)
- Announcement of editorial decision:  
November 30, 2024
- Deadline for receipt of revised final manuscripts:  
January 6, 2025 (via email as an attached file)
- Publication:  
March 31, 2025

Please refer to the guidelines and template at the Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>).

## ■ 事務局より ■

### Messages from Kansai Chapter

4 月 1 日より、支部事務局を担当します総務幹事の三木浩平です。1 年間どうぞよろしくお願い申し上げます。今年度の関西支部の連絡先は本ニューズレターの冒頭をご覧ください。

本年度の体制は、門田支部長、石川副支部長、中西副支部長を中心として、総務幹事を三木・山岡華菜子先生、財務幹事を田中美津子先生・野田三貴先生、紀要幹事を大槻きょう子先生・板垣静香先生、広報幹事を山下美朋先生・松岡真由子先生が務めます。この新体制で協力し合いながら、支部の活動を会員の皆様にとって有意義で、魅力的なものにしていきたいと考えております。

また、本年度の研究企画委員会の体制として、委員長を山中司先生、副委員長を薦田和美先生、近藤雪絵先生が前年度に引き続きご担当されることになりました。また新たに 2 名の先生方が研究企画委員としてご就任されました。心強い布陣で支部大会を盛り上げてまいります。皆様のあたたかいご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

加えて、2023 年度でご退任なさった先生方から、以下のメッセージをいただきましたので、ご紹介いたします。これまで支部のためにご尽力いただき、誠にありがとうございました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

## ■ 退任のご挨拶 ■

### Messages from Kansai Chapter Officers Completing Their Term of Office

◎ 旧総務・事務局長 斉藤 倫子先生（関西学院大学）  
紀要幹事として 2 年、総務幹事として 2 年、合計 4 年間 JACET 関西の幹事を務めさせていただきました。まだコロナの影響が残る中、画面を通してしかお話しする機会がなかった先生がほとんどでしたが、この間、幹事、会員の先生方に支えて頂き、多くの学びと貴重な経験をさせていただきました。温かく見守って下さった先生方に心よりお礼申し上げます。今後は、研究会等でお目にかかれますことを楽しみにしております。

◎ 旧紀要委員長 西村 浩子先生（周南公立大学）  
紀要幹事として 2 年間お世話になりました。1 年目は記念号の発刊に携わらせていただき、JACET 関西支部の歴史を学ばせていただくことができました。また、2 年目は新たな編集委員会の先生方、支部幹事の先生方に支えていただき紀要第 26 号の発刊にたどり着くことができました。全てが大変貴重な経験となりました。皆様に心より感謝申し上げます。末筆ながら JACET 関西支部の益々のご発展を祈念しております。

◎ 旧財務幹事 ハーバート 久代先生(桃山学院大学)  
研究企画委員として 4 年、財務幹事として 2 年お世話になりました。在任期間中に関西支部大会が対面からオンラインへ、そしてまた対面へと移り変わりました。この変化の中で役員の皆様の協力体制、柔軟な対応、細やかなお心遣いに触れ、私にとりましては感動と学びの 6 年となりました。学会運営の一端に携わる貴重な機会をいただきましたこと、そして何よりも、多くの先生方にご指導、ご協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

◎ 旧広報幹事 吉田 諭史先生(近畿大学)  
2022 年 4 月からの 2 年間、広報幹事として大変お世話になりました。任期中、支部長、副支部長、役員、幹事、会員の皆様には、広報業務に関して多大なるご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。関西支部に移籍してから日が浅い状態での幹事就任となりましたが、皆様が温かく見守ってくださったおかげで、無事に任期を終えることができました。心より御礼申し上げます。今後も支部イベント等で大変お世話になります。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◎ 旧研究企画委員 延田 リサ 先生(京都産業大学)  
2022 年度から 2 年間、研究企画委員を務めさせていただきました。オンライン形式および対面形式の支部大会の企画・運営において、多くのことを学び、貴重な経験をさせていただきました。山下委員長(2022 年度)、山中委員長(2023 年度)をはじめ、委員の皆様には大変感謝しております。JACET 関西支部のますますのご発展をお祈り申し上げます。

## ■ 会員情報の変更 ■

支部会員向けの各種案内の配送やメーリング・リストによる情報の配信に使用いたしますので、会員情報(住所、メールアドレス、所属、電話番号等)が変わられた方は、**必ず**ご連絡ください。なお、関西支部では名簿の作成・管理は行っておりません。**会員情報の変更のご連絡は、本部事務局(jacet@zb3.so-net.ne.jp)**までお願いいたします。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone number, and other information to the JACET Main Office (jacet@zb3.so-net.ne.jp).